

H28 奥山小学校 生徒指導力向上プラン

P(計画)

D(実施)

C(評価)

A(改善)

説明責任

自己評価

【児童の生徒指導面についての状況】

項目	優れている点	伸ばしたい点
生活の基礎基本	・決められたルールに沿って落ち着いて生活を送ることができる。	・自分で判断する力 ・規範意識の向上
温かい人間関係作り	・クラス替えもなく、幼稚園から同じクラスの子供も多く、お互いのことをよく理解している。	・自己肯定感の向上 ・固定化された人間関係の解消 ・相手の立場を考えた言動
児童理解	・明るく素直で、教師にも積極的に関わりをもとうとする。	・困り感を教師に素直に伝える力

【達成目標】

- ・規範意識をもち、規律ある生活を過ごすことができる。
 - ・自分の良さや友達の良さ、課題をそれぞれを認めながら生活することができる。
 - ・よいこと見付けカード・・・他学年を含め年間30人以上の友達へ渡す。
 - ・一人一人の児童理解を深める。
- 学期に1回の児童相談を設けるようにする。その際、子供たちの指導の記録をしっかりと残す。名前を付けて子供たちとあいさつをする。

【生徒指導力向上に向けての取り組み】

- ・生徒指導の全体計画や「奥山小の1日の生活」、引佐南部中学校区で作成した「生活のきまり」を全職員が共通理解し、他学校と連携を図りながら、中学校区全体で指導を進めていく。
- ・生活目標について学級で話し合い、意識して毎日の生活を送ることができるようにする。
- ・全職員が積極的に児童に声を掛けたり、いろいろな教師からの称揚を増やしたりしていく。
- ・異学年や幼稚園、他学校との交流活動を積極的に取り入れ、多くの子供たちとの関わりを増やし、人間関係の幅を広げる。
- ・児童の実態や心情(自己肯定感)を把握したり、いじめの早期発見に努めたりするため、「学校生活アンケート」を学期に1回実施する。また、そのアンケートを活用しながら児童教育相談を定期的に行う。
- ・保護者にもいじめに関するアンケートを実施し、早期のいじめ発見に努め、日頃の指導と結果を伝えていくようにする。
- ・職員会議で生徒指導の時間を確保し、心配な児童・配慮する児童について、報告・意見交換をし、全職員で共通理解を図る。また、校務支援ソフトを使用して、日々の様子を記録していくようにする。

【生活の基礎基本に関する評価】

多くの子供たちが、基本的な生活習慣を身に付けることができている。学校のルールをしっかりと守って行動することができ、落ち着いた学校生活を送ることができた。子供たちは、校内でのあいさつは、きちんと行うことができている。しかし、学校から外に出ると、まだまだあいさつができていない。指導を継続しているが個人差は大きい。

【温かい人間関係づくりに関する評価】

温かい人間関係づくりをするために、子供自身の意識向上をねらって、全校話し合い活動を行うようにした。また、話し合ったことを学校中に掲示し、意識向上を図るようにした。大きな人間関係のトラブルもなく、落ち着いて過ごすことができた。

【児童理解に関する評価】

毎月の教育相談を効果的に使い、定期的に児童の実態把握に努めることができた。毎月の職員会議の中に児童理解を共有する時間を設定し、担任だけでなく、学校全体で課題に対応できる体制もできていた。

【改善策】

毎月の生活のめあてをきちんと児童に示し、達成できなかったかを振り返らせ、今後も一層基本的な生活習慣の定着を図っていけるようにする。あいさつをすることの意味や大切さを子供たちにじっくり考えさせ、自ら進んであいさつをしようとする習慣を身に付けていけるようにする。

【改善策】

来年度も、全校話し合い活動を継続して取り組んでいくようにする。児童と保護者の両方にいじめアンケートを実施し、学校と各家庭とが互いに協力し理解しながら、子供たちをしっかりと支えていくことができるようにする。

【改善策】

小規模校の良さを生かし、担任だけでなく全職員で一人一人の児童理解に努めていく。発達支援委員会、いじめ対策委員会の充実を図り、組織として児童理解を深め、課題に対して各担当が連携しながら解決できるように取り組んでいく。

学校関係者評価

- ・様々な場面で子供たち一人一人が活躍できる場面が設定されており、個々のしっかりと成長が感じられる。
- ・情報モラルの指導をしっかりと行い、子供たちがトラブルに巻き込まれないようにしてほしい。(特に、言葉の使い方)
- ・周囲の様々な誘惑に負けない、自分の気持ちをしっかりと抑えることができる力を身に付けてほしい。
- ・校内だけでなく、校外でもきちんとあいさつができるようになってほしい。(特に、横断歩道を渡った後、感謝の気持ちをもって、お礼の言葉と言えるようになってほしい。)

改善策

- ・校外でのあいさつができるよう、登下校の指導を通して、地域の方やドライバーに対する心を込めたあいさつができるようにする。
- ・校内での良好な人間関係を保つために、全校話し合い活動を継続する。また、情報モラルの指導を行い、犯罪や事件に巻き込まれないようにしていく。